

船の事故	発生日	発生県	船舶種類	事故形態
	10月15日（土）	福岡県	遊漁船	運航不能
	10月15日（土）	長崎県	プレジャーボート	運航不能
	10月15日（土）	佐賀県	漁船	乗揚
	10月16日（日）	長崎県	プレジャーボート	運航不能

人の事故	発生日	発生県	事故区分	事故内容
	10月12日（水）	山口県	船舶海難によらない乗船者の人身海難	病気
10月16日（日）	長崎県	マリレ以外の海浜事故	海中転落	

## 運航不能(推進器障害)2隻発生！ 絡索に注意！

【問合せ先】

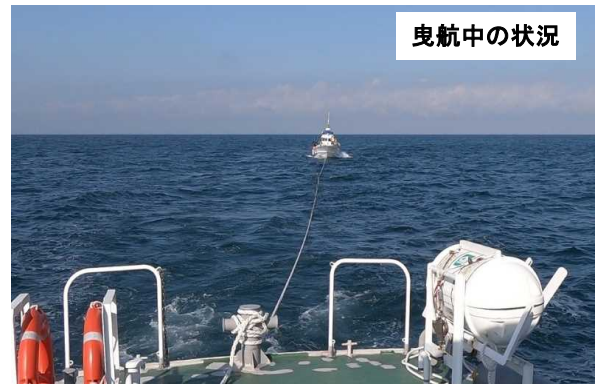
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場  
安全対策調整官 川部  
TEL：093-321-2931（内線2640）

### 【事件事例】

令和4年10月15日06:40頃、事故船舶は遊漁客9名を乗船のうえ、遊漁海域に向け航行中、「ドン」という音とともに、船体が振動したため、船長はすぐに機関を中立とし、船を停止させた。

船尾にある点検口からプロペラの状況を確認したところ、黒色のビニール袋状物がプロペラに絡まっている状況を確認、船長が鎌を使用し、ビニール袋状物の除去を試みるも、除去することが出来ず、運航不能状態となり、海上保安庁に通報したもの。

同日08:45頃、事故船舶は巡視艇により曳航救助された。



曳航中の状況

### ◆絡索海難を起こさないために

#### ・適切な見張りの実施

船舶への適切な見張りはもちろんのこと、海面への見張りも常時適切に行いましょう。

潮目には魚が集まりやすい一方で、漂流ごみも集まりやすいです。漂流ごみを発見した場合は、迂回する等近づかないようにしましょう。

有明海の潮目に漂流ごみが集まる状況



#### ・プロペラ周りに注意

出港時や漂泊中に、エンジンを起動するときは、必ずプロペラ回りを確認し、ロープ等漂流物がないか注意しましょう。

また、過去に船尾から入れたアンカーロープがプロペラに絡索する事故が発生しています。出来る限り船首からアンカーを入れるようにしましょう。



プロペラ部の絡索状況

### ◆もしもの時のために

#### ・連絡手段の確保の徹底

運航不能に陥った時は、ほとんどの場合、他船の支援が必要となります。携帯電話等の連絡手段を確保しましょう。

また、運悪く、携帯電話が繋がらない海域で運航不能となる場合もあります。必ず、第三者に帰宅時間を伝えるようにしましょう。

